

# 生物の傾向と対策

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A方式 11月1日 問題▶P.39~	第1問	細胞	細胞の構造とはたらき
	第2問	生殖と発生	生殖の方法、植物の配偶子形成、細胞分裂
	第3問	遺伝子とそのはたらき	肺炎双球菌の形質転換実験
	第4問	動物の反応と行動	脳の構造とはたらき、チロキシンの分泌調節
	第5問	植物の環境応答	種子の発芽と植物ホルモン
A方式 11月2日 問題▶P.43~	第1問	細胞	細胞と浸透圧
	第2問	生殖と発生	イモリの眼の発生
	第3問	遺伝子とそのはたらき	DNAの構造、遺伝子の連鎖と組換え、組換え価
	第4問	動物の反応と行動	興奮の伝導と伝達
	第5問	植物の環境応答	光発芽種子とジベレリンのはたらき

**傾向** 基礎レベルの問題が多いが、さまざまな分野から幅広く出題される。

## 1…出題形式

大問5問の構成で、第4問または第3問はA、Bからなる。小問数は、27問または28問である。

回答方式は、すべてマークシート方式である。

出題形式は語句選択・数値選択・組み合わせ選択・文章選択・正誤判定などとなっている。

選択肢は4~10択だが、4~6択のものが多くみられる。

## 2…出題内容

細胞、生殖と発生、遺伝子とそのはたらき、動物の反応と行動、植物の環境応答の各分野から出題されている。

知識問題が多く出題されているが、実験考察問題や、グラフや表で示されたデータを扱う問題なども出題されている。

## 3…難易度

全体的に基礎レベルであり、教科書の用語や内容を理解していれば、十分に解けるであろう。

実験考察問題は、教科書に掲載されていない実験も出題されており、グラフや表などのデータの読み取りが苦手の生徒には苦戦が予想される。

計算問題も出題されているが、簡単な計算で正答が得られるので、基礎レベルといえる。

基礎的な問題が多く、試験時間にも余裕があると思われるので、実験考察問題などの熟考が必要な問題に時間を割きたい。また、繰り返し見直しをして、少しでも得点できるようにしよう。

**対策** 教科書の内容を理解したら、問題集で実験考察問題に取り組んでおこう。

## 1…まずは教科書の内容をきちんと理解しよう

さまざまな分野の基礎的な内容が多く出題されているため、まずは教科書に出てくる重要な用語をおさえたい。内容を理解する必要がある。

教科書を学習する場合、最初から細かい用語を暗記していくのではなく、まず教科書の文章を読み、生物の内容全体を大きくとらえるとよい。そうすることで、各分野間のつながりが見え、理解しやすい。内容をおさえられたら、教科書に太字で示されている用語の意味をしっかりと説明できるようにしておこう。

図中の用語についても問われるので、教科書の図も確認しておく必要がある。図と文章をセットで確認するようにすると理解しやすい。

## 2…生物の文章に強くなろう

設問の文章や、文章選択・正誤判定の問題の選択肢を読む際には、読解力が必要となる。問題演習を行うときには、少し長めの問題文のある問題に取り組むようにし、設問や選択肢のポイントを押さえながら読めるように練習しておきたい。

文章の穴埋め問題では、問題文中の空欄に用語を直接書き

込むようにすると文意を理解しやすくなる。また、正誤判定の問題では、ただ正答を選ぶのではなく、どの部分が誤っているかを指摘できるようにしておく、知識をさらに深めることができる。

## 3…実験の結果や考察をおさえよう

実験考察問題の出題がみられるが、教科書レベルの内容なので、教科書で扱われている実験の内容を理解し、結果や考察についてそれぞれ整理しておこう。

実験考察問題では、どのような実験を行っているのかについては問題文に示されているので、問題文を注意深く読むようにしよう。重要な条件には下線を引くなどして、整理しながら問題文を読むとよい。また、文章だけでなく、グラフや表などのデータが結果として与えられるので、グラフや表を読み取り、考察することにも慣れておく必要がある。グラフでは、縦軸や横軸、傾きを確認し、読み間違いをしないように練習しておきたい。

実験考察問題を多く掲載している問題集で演習量を増やし、さまざまな設問に触れておくことで、実験の内容を読み取り考察する技術を習得できるので、ぜひ取り組んでおきたい。